

## スーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した 授業公開研修



鳥栖市立鳥栖北小学校 佐藤 幸規 教諭

### 「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 — 「日本らしさ」を見つけてみよう — (小学校3年 道徳)

#### ICT活用のポイント

- ・ 電子黒板に「日本らしさ」を数多く含んだ絵をカラーで表示し、児童の興味関心を高める。
- ・ 「日本らしさ」を数多く含んだ絵を1人1台端末にも配信し、選んだ「日本らしい部分」を拡大して、わかりやすく発表させる。
- ・ タブレットを家庭に持ち帰らせることで、日本らしさについて家族と話す機会を作る。

#### 学習の流れ

##### <本時のねらい>

身の周りの「日本らしさ」に目を向け、そのよさや自分との関わり、その中にある先人の思いを知ることで、日本の文化や伝統に対して「これからも残ってほしい」という心情を育てる。

導入	展開	まとめ
<p>①教材の中から、伝統的な「日本らしさ」を見つける。</p> <p>○どこの国かわかりますか？</p> <p>○自分のプリントに日本とわかる場所を見つけ、丸で囲みましょう。</p> <p>○丸をつけたものを紹介しましょう。</p> <p>【黒板に「日本らしさ」を数多く含んだ絵を掲示。同じものをプリントで配布。】</p>	<p>②「日本らしさ」には、長い伝統があることに気づく。</p> <p>○「日本らしさ」は、何年前から続いてきたのでしょうか。</p> <p>【1年を1cmとした紙テープを使って長さを表現。】</p> <p>③伝統的な「日本らしさ」が減っていることに気づく。</p> <p>○丸印をつけた日本らしさの中で、減ってきているなあと思うものはないですか。</p> <p>④残ってほしい「日本らしさ」について考える。</p> <p>○この絵の「日本らしさ」の中で「これからも残ってほしい」と思うものはありませんか。</p> <p>【電子黒板に「日本らしさ」を数多く含んだカラーの絵を表示。同じものを児童の端末にも配布し、各自の「残ってほしいもの」を拡大して、班やクラスみんなに紹介。】</p> <p>活用ポイント 【資料配布・表示機能】</p>	<p>⑥自分の身近な人の思いにふれることができるようにする。</p> <p>○家族もこの絵の中で「残したい」と思うものがあるでしょうか。</p> <p>【端末を持ち帰らせ、家族の話話を聞くきっかけを作る。】</p> <p>活用ポイント 【資料配布・表示機能】</p>
	<p>⑤「日本らしさ」に対する自分の思いに気づく。</p> <p>○「日本らしさ」が減っていくことは、みんなにとって嬉しい事ですか、悲しい事ですか。</p>	

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。 →

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



④「日本らしさ」を数多く含んだ絵を電子黒板に表示。【表示機能】

わかりやすく、興味関心が高まる。

印刷ではモノクロでしか見せられない絵も、カラーで表示できる。



④「日本らしさ」を数多く含んだカラーの絵を児童の端末にも配布。【表示機能】

絵を手元で拡大できる。



④「残ってほしい日本らしさ」について、班やクラスで紹介。【共有機能・表示機能】



⑥端末を持ち帰って、家族の話聞ききっかけを作る。

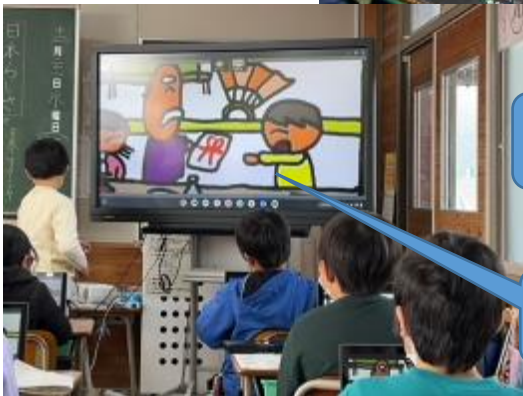
持ち帰りについてしっかり指導



グループ内で紹介。

クラスで紹介。

絵を保存して持ち帰らせる。



令和4年12月20日に行われた、スーパーティーチャー佐藤幸規教諭（鳥栖市立鳥栖北小学校）の実践です。カラーの絵を電子黒板と1人1台端末に表示することで、子どもたちの興味関心を引き出し、グループやクラス内での発表もスムーズに楽しく行います。また、1人1台端末に絵を配信して持ち帰ることで、家族の話聞ききっかけを作り家庭学習にも活用します。ICT機器の利点を活かし、子どもたちが笑顔で活発に学習している素晴らしい授業でした。